

2024 年 6 月 日

2030 生物多様性枠組実現日本会議 (J-GBF)

委員各位

J-GBF 事務局

「J-GBF ネイチャーポジティブ行動計画（進捗表）」の作成について（依頼）

日頃より生物多様性の主流化の推進に御尽力賜り、感謝申し上げます。

標記の件につきまして、下記のとおりお願い申し上げます。

記

1. 「行動計画」の進捗表の作成依頼について

「J-GBF ネイチャーポジティブ宣言」（2023 年 2 月）に基づき、第 2 回 J-GBF 総会（2023 年 9 月）において「行動計画」が承認、公表されました。「行動計画」は 2030 年度目標達成に向けて、3 年経過後の 2026 年度に各構成団体の次の 3 年間の取組を見直し、行動計画の更新を行うこととされています。また、毎年度進捗状況をフォローアップ（以下、FU）し、総会にて報告・共有することとされています。

進捗状況の FU は、「行動計画（進捗表）」を用いて、各構成団体に 2023 年度取組結果、自己評価、2024 年度の取組（予定）を御記入いただき、事務局にて取りまとめた上で、第 3 回 J-GBF 総会（2023 年 9 月予定）にて報告・共有（公表）します。

また、構成団体同士の連携による取組事例がある場合は、御報告いただくようお願いいたします。J-GBF 総会において、総会の場で御紹介の機会を設けさせていただきます。

2. お願い事項

- 1) 「行動計画（進捗表）」に 2023 年度取組結果、自己評価、2024 年度の取組（予定）を記入をお願いします。

※J-GBF 委員（構成団体）すべての行動計画が記載されておりますので貴団体該当部分のご確認をお願いします。

- (1) J 列に貴団体の 2023 年度取組結果を記入願います。
- (2) K 列に貴団体の自己評価を記入願います。
- (3) L 列に貴団体の 2024 年度の取組（予定）を記入願います。

2) 構成団体同士で連携して行った取組、あるいは連携して行おうと調整を開始している取組がありましたら、その内容について御報告をお願いいたします。様式は自由です。既存資料がありましたら御提供ください。なお、内容について事務局から問い合わせる場合がございますので、ご承知おきください。

進捗表イメージ

進捗状況を記入
・2023年度の取組み結果
・自己評価
・2024年度の取組み(予定)

D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
No.	(1) 取組み	(2) 連携団体等	(3) 連携先	(4) 方向性	(5) 2023年度～2025年度の3年間の取組み	(5-1) 2023年度の取組み結果	(5-2) 2024年度の取組み(予定)	(6) 2030年度目標	(7) 2023年度までの進捗状況	
1	J-GBFの活動 ネイチャーポジティブ推進の呼びかけ	2030生物多様性 損失防止日本会議 (J-GBF)		行動目標4-3 意見に賛同的かつ自主的な行動 実行を目指す	意見の呼びかけ、賛同された意見の公表			ネイチャーポジティブ実現の促進となる施策の 実施	生物多様性の保全につながる活動への参画を するの計画をとり進める。	
2	2030年ネイチャーポ ジティブに向けたア クションプランの策 定、実行	(一社) 日本経済 団体連合会(経団 連)自然保護協 会	政府・自治体、事 業・施設、NGO、 海外企業等(アソシ エーション)	行動目標3-1 企業による生物多様性への取組 策・事例の発掘・評価、現状分析、施策に即 した取組、情報発信を促すとともに、産学 連携・官民連携による取組を推進する取組を 実施し、取組の促進から生物多様性保全・調 整も進捗を促す	①産学連携や官民連携による取組 策・事例の発掘・評価、現状分析、施策に即 した取組、情報発信を促すとともに、産学 連携・官民連携による取組を推進する取組 の実施 ②産学連携や官民連携による取組を推進 するための取組(産学連携・官民連携の促進 策POCA(産学連携推進アンダー)実施に よる取組促進、活用)			行動目標3-2 事業活動による生物多様性への 影響の把握、正の影響の拡大、企業や産 学連携の生物多様性推進システムの構築、及び環境 負荷を低減する取組の実施の取組を推進 している取組	以下のような取組をとり進める取組を推進し、 ①産学連携や官民連携による取組を推進 策・事例の発掘・評価、現状分析、施策に即 した取組、情報発信を促すとともに、産学 連携・官民連携による取組を推進する取組 の実施 ②産学連携や官民連携による取組を推進 するための取組(産学連携・官民連携の促進 策POCA(産学連携推進アンダー)実施に よる取組促進、活用)	
3	委員会活動を通じた 啓発活動	(公社) 経済同友 会		行動目標3-1 企業による生物多様性への取組 策・事例の発掘・評価、現状分析、施策に即 した取組、情報発信を促すとともに、産学 連携・官民連携による取組を推進する取組を 実施し、取組の促進から生物多様性保全・調 整も進捗を促す	(公社) 経済同友会(経団連)の取組 策・事例の発掘・評価、現状分析、施策に即 した取組、情報発信を促すとともに、産学 連携・官民連携による取組を推進する取組 の実施 ②産学連携や官民連携による取組を推進 するための取組(産学連携・官民連携の促進 策POCA(産学連携推進アンダー)実施に よる取組促進、活用)			行動目標3-2 事業活動による生物多様性への 影響の把握、正の影響の拡大、企業や産 学連携の生物多様性推進システムの構築、及び環境 負荷を低減する取組の実施の取組を推進 している取組	以下の 中長期 計画に 記載 された 取組	委員会活動を通じた啓発活動 (啓発については、事後報告)
4	東京商工会議所の eco検定(環境社会 検定試験)の実施支 援	日本商工会議所	東京商工会議所	行動目標4-3 意見に賛同的かつ自主的な行動 実行を目指す	東京商工会議所のeco検定の取組を支援し、 普及向上を図る			行動目標3-2 事業活動による生物多様性への 影響の把握、正の影響の拡大、企業や産 学連携の生物多様性推進システムの構築、及び環境 負荷を低減する取組の実施の取組を推進 している取組	エコ検定 の実施	エコ検定(環境社会検定試験)の実施

自己評価(凡例)

- ◎ 予定以上に進んだ
- 予定通り進んだ
- △ 予定通り進まなかったが、着手はできた
- × 全くできなかった

2. 期限、提出方法

- ・ 7月26日(金)17時まで
- ・ メールにて事務局(担当: 中村、早乙女)宛に送付

3. 提出書類

- ・ 別添「J-GBF ネイチャーポジティブ行動計画進捗表 様式」に記入したもの
- ・ 連携取組事例に関する報告資料(任意。連携事例に関する資料がある場合に提出)

ご不明な点等ございましたら、当方までお気軽に御連絡ください。

引き続き、生物多様性の普及啓発等に御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上

【J-GBF 事務局】

環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性主流化室(担当: 中村、早乙女)

◆メールアドレス

YUJI_NAKAMURA@env.go.jp

TAKAAKI_SOTOME@env.go.jp